

令和4年度 第7回

高野町農業委員会 定例会

議 事 録

(公 開 用)

令和5年2月14日開催

高野町農業委員会

令和4年度 第7回 高野町農業委員会 定例会

下記のとおり、高野町農業委員会定例会を招集した。

開催日時 令和5年2月14日（火）

●開会時刻 午前10時00分開会

●開催場所 高野町役場 2階 会議室

●出席委員 1番 井阪 晴美 2番 木村 金男 3番 上田 静可
4番 柳 葵 5番 梶谷 廣美 6番 井手上 治己
7番 下名迫 勝實 8番 西辻 政親 9番 泉平 和廣
以上9名出席

●出席推進委員

以上0名出席

●欠席委員

10番 森脇 伸宜

以上1名欠席

●事務局員

事務局長 茶原 敏輝

事務局員 松本 斉・阪田 泰規・中村 任貴

●関係者

●議事事項

議案第5号 農業経営基盤強化促進法に基づく農地利用集積計画
の決定について

報告第8号 地籍調査事業に伴う地目変更の通知について

その他

●議事内容 次のとおり

*****午前10時00分 開会*****

事務局（松本 斉）

おはようございます。

定刻となりましたので、令和4年度第7回高野町農業委員会定例会を開催します。

本委員会ですが、本日、出席委員さん9名、欠席委員さん1名、欠席委員さんの内訳は、10番の森脇委員です。

高野町農業委員会会議規則第10条による規定数を超えていますので、本日の本委員会は成立していますので、御報告いたします。

それでは、事務局長より御挨拶をお願いいたします。

事務局長（茶原敏輝）

おはようございます。1月末にかなり大きな雪があって、ばたばたといたしました。ただ、その以降、順調に暖かくなってきて、ほぼ高野山も雪がなくなっております。

昨日、うちの職員のほうが、フキノトウが出ておったみたいな話があって、見るとほんまにぱっとう出てきているような状態で、いよいよ春なのかなと、光も暖かくなってきたなと思いながらおります。

いよいよまた、春の種まき、作付の関係でばたばたと忙しくなるかと思えますけども、ぜひ健康に頑張ってください、気をつけていただいてしていただけたらなというふうに思っております。

本日の議案につきまして、慎重審議いただきますよう、どうぞよろしくをお願いいたします。

事務局（松本 斉）

ありがとうございます。それではすみません。座って進行させていただきます。

続きまして、高野町農業委員会会議規則第29条に基づく議事録署名委員を事前に議長より御指名いただいております。本日の署名委員は、6番、井手上委員、8番、西辻委員にお願いします。

続きまして、議長の選出について、高野町農業委員会会議規則第9条により、当委員会の会長となっておりますので、柳会長、よろしくをお願いします。

議長

改めて、おはようございます。

やっと冬らしく雪もかなり降りまして、11月に。また、大分溶けて、今高野はかなり、さすが高野やなと思いました。かなり量が多いと。

これからそれぞれ、さっき事務局長も言っていたとおおり、春先だんだん暖かくなってきて忙しくなると思えますけど、体に気をつけて頑張ってくださいと思います。

そうしたら次、もう議題に入りたいと思います。

それでは、次第に沿って、議案第5号、農業経営基盤強化促進法に基づく農地利用集積計画の決定について、事務局に説明をお願いいたします。

事務局（松本 斉）

それではすみません。今回のこの議案に、・・・委員の農地が入っておりますので、ちょっと席を外していただいて、後ろのほうで座っていただけますか。すみません。

それでは説明します。

議案第5号、農業経営基盤強化促進法に基づく農地利用集積計画の決定について。

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定により、別表、農業地利用集積計画の決定について意見を求める。

令和5年2月14日提出 高野町農業委員会会長 柳 葵。

4ページから6ページを御覧ください。

今回の申請は2件で継続でございます。

整理番号4-2、農地の所在、・・・・・・・・・・、ほか・筆です。

場所については、5ページの航空写真を御覧ください。ちょっと見にくくなっておりますが。

登記簿は・、現況地目も・でございます。

合計面積は・・・・・・・・平方メートル。権利設定は・・・・です。

利用権の設定を受ける者の住所氏名、和歌山県和歌山市茶屋ノ丁2-1、公益財団法人和歌山県農業公社理事長、下 宏氏です。

利用権の設定をする者の住所氏名、・・・・・・・・番地、・・・・氏です。利用目的は・です。期間は・か年でございます。

続きまして、整理番号4-3、農地の所在、・・・・・・・・番地、ほか・筆です。場所については、6ページの航空写真を御覧ください。

登記簿は・、現況地目は・です。合計面積は・・・・・・・・平方メートル。権利設定は、・・・・です。

利用権の設定を受ける者の住所氏名、和歌山県和歌山市茶屋ノ丁2-1、公益財団法人和歌山県農業公社理事長、下 宏氏です。

利用権の設定をする者の住所氏名・・・・・・・・番地、・・・・氏です。利用目的は・です。期間は・か年でございます。

本申請に当たっては、紀北川上農業協同組合に書類作成等のお手伝いをいただいております。

今回の計画内容は、農業経営基盤強化促進法18条第13項の各要件を満たしておりますので、許可相当と考えております。御審議

事務局（松本 斉） そうですね。もちろん台帳のほうで管理しますので、・から・外になったところはまたうちのほうで、意向調査のときにそこを反映させて、調査に行っていたかなくていいというふうな形になっていきます。

議長 はい、分かりました。
ほとんど山林。

事務局（松本 斉） そうですね。あと、意外と・・が多いです。
・・に変わっているところが結構多いです。

議長 次にまた調査できたら、次に行くと。

事務局（松本 斉） そうですね。これが平成元年の調査が今整理されている状態になっているので、大分遅れての報告になっています。

議長 今、平成元年じゃなくて、令和元年でしょう。

事務局（松本 斉） ごめんなさい、令和元年です。これは令和です。

議長 3年はかかるということですか。

事務局（松本 斉） そうですね。やっぱり、所有者云々とか、なかなか立ち合いできなかつたりとか、ちょっと進んでいないというのが現状のようです。

議長 もし、これの調査をやっている人、時々立ち合いに来ないと言っ
てはりますわな。
できんと言ったら、もうここに載らんといった、そのまま現状維持で。

事務局（松本 斉） はい。そのまま、また再調査というような形をとっているというの
は聞いているんです、地籍係のほうには。
どうしても、所有者さんが分からない、立ち合ってくれないとい
うので、思うように進んでいないというのが現実らしいので、
高野町全体が終わるのが・・年から・・年という話になっている
ので、遅れてはないようなんですけども、順序よく進んでいるとい
うのは地籍係のほうから聞いてるんですけど、そんな現状です。

議長 分かりました。

何か御質問ございませんか。どうぞ。

井阪委員

1番、井阪です。山というところは、杉とかヒノキとかが植わっているところですか。

事務局（松本 斉）

そうですね。

議長

ほかにはないですか。どうぞ。

上田委員

・・・ありますよね。これは、高野町として整理していけへんのかと。持ち主に寄附してもらおうとか。

事務局（松本 斉）

前にも、地籍係と建設課に聞いたんですけど、やっぱり持ち主さんから発信していかな、高野町からというのは。

上田委員

もうどないもできへんやろうな、・・・になっとるんで。

事務局（松本 斉）

所有者さんからという話になります。

議長

ほかにはないですか。

何か御質問。いいですか。

これで一応今日の議題は終わりですけど、ほかはまだ、お願いしますか。事務局からお願いします。

事務局長（茶原敏輝）

採用の際に、農業委員会さんのほうの、いろいろと御支援もいただきながら進めておりました、・・・の・・・の・・・なんですけれども、本人の希望があって、・・・月・・・日付で・・・となっております。

本人、・・・のほうへ行って、新しい・・・というようなことを言われてるみたいなんですけれども、私たちといたしましては、やはり富貴、筒香、花坂、細川、いろんな周辺集落から農作物というものをしっかり高野山のほうにつないでいって、高野の宿坊であったり、飲食店、そういったところで利用していただく。

実際、・・・のほうも着任して1年目というのは、結構高野山のいろんな催しであったりとか、お店屋さん、お寺、いろんなところに流通をしておって、やはりそこの皆さんが言うには、ものがい、おいしいということで喜ばれていたという流れの中で、・・・はこういう形で・・・になりましたけれども、事業としては引き続きしっかりやっていきたいなというふうに思っております。

来年度の当初予算につきましても、この農産物の流通の部分の

予算は確保したままおりますので、今後改めてまた人の採用も含めて、皆さんに御支援をいただきながらやっていきたいなというふうに思っております。

3年経った後の起業の部分というのがどこまでできるのかというところの危惧というか、難しさは残るんですけども、やはり皆さんが元気で作っていただいたおいしいものを、高野山で使わせていただく。そこでお互いメリットがあるっていうところですので、しっかりやっていきたい。そんなふうに思っておりますので、どうぞまた引き続きこの件につきましては、御支援いただきますようお願いいたします。

議長

ありがとうございます。

下名迫委員

それにつきまして、今年、今年度また運んでくれるのか。それによってまたそれに合わせた作物を作ってみたいと思うんだけど、それがなければもう作物もちょっと控えて、作るのも控えなあかんし。

事務局長（茶原敏輝）

うちとしては、・・が・・してしまいましたので、実は2月、3月分が宙に浮いてくるところもあります。

できるだけ早く募集をかけて、富貴で行ってるほかの地域おこし協力隊の事業もですけど、手を挙げてくれる人がなくて困っていたところもあって、募集をかけてもすぐ反応してくるかどうかということがちょっとあるんですけども、方向としてはやっぱりしっかりやりたいと思っています。

今、富貴地区においては、外部から若い世代がまとめて入ってこられて、活気を呈しているところもありますので、若い方でもいいので入っていただいて、農業であったりとか、その農業に付随する流通とか、ジビエのことでもいいんですけども、対応しながらやっていただけの方が出てくれることを待つというか、しっかり募集してやっていきたいなと思っています。

トウキの後継者育成の部分も2人、地域おこし協力隊が導入できるように、これも別途予算をあてておりますので、そういったことを踏まえながら、できる限り対応していきたいなというふうに思っています。

井手上委員

回覧板で回ってた、4日のやつ、農業委員で私行かなあかんのかな、どないかな。

事務局長（茶原敏輝）

3月4日の日本農業遺産の関係の有田川でのフォーラムの分、

チラシで回させていただきました。

これは、何年やったかな。令和2年に高野町とかつらぎ町と有田川町が共同で提案をした農業遺産が認定はされたんですけども、ちょうどその頃、コロナの一番厳しい時期で、認定された記念のフォーラムみたいなものを開催することができずに今までできてしまっております。

それを今回、このタイミングですけれども、皆さんに知っていただくために開きたいということでやります。

それで、会場としては300人規模の会場なんですけれども、コロナのこともあって、2分の1、150人ぐらいの想定して募集をかけています。

私たちとしては、町としては、できる限り町内の方に行っていただいて、農業者について話を聞いていただけるとうれいなとは思っています。

だけれども、農業委員会さんで何人とかっていう形で人動員するということは、ちょっとそこまでは実は考えておりません。

ただ、職員については、各課、勉強の意味も込めて2名ずつぐらい出席してくれるようお願いはしています。

井手上委員

前のときに1回行ったよな。

事務局長（茶原敏輝）

これは農業委員会に対して案内が出てるかな。

事務局（松本 斉）

出していません。

井手上委員

回覧で来たから、今日はまたそんな話あるんかなと、ちょっと聞かせてもらったんです。

事務局長（茶原敏輝）

農業委員会ということではなくて、各個人で御判断いただいて御参加いただくという形で、私たちは聞いていただいたらうれしいです。

玉虫色の発言ですが。

議長

どうしたらいいだろう。今回、決起集会みたいなのではないの。

事務局長（茶原敏輝）

今回はどっちかという、勉強会みたいな。

議長

勉強会。

事務局長（茶原敏輝）

はい。小谷先生という方に来ていただいて、ほかの農業遺産

の取組がどんなものでやっているのか、どういうことをやれば地域活性につながるかみたいな、そういう講演を頂くような感じ。

案内を正式に出しているのは、金剛峯寺、高野山大学、森林組合関係、これは寺領と高野森林組合ですけども、あと観光協会と。こういったところに正式に文書を出させてもらっています。

事務局（松本 齊）

3年、4年前は多分農業委員会さんへ案内を出させてもらったんやと思うんですけど、今回行政の色が強いということで、農業委員さんにはお声かけしてないんですけども、行きたいよっておっしゃっていただけたら、農業委員会としても、事務局としてもありがたいですし、そろそろ春への畑、田んぼの準備もあるのかなというのもあって、ちょっと控えさせてもらった。それで、回覧だけ回させてもらったという形になってるんですけども。

議長

今回は自由参加で、もし行ける人があったら行くようにしてもらったらいと思いますけど。

事務局長（茶原敏輝）

よろしくお願いします。

議長

ほかに何かないですか。どうぞ。

木村委員

ちょっと言いかけたんやけど、2番の木村です。
先ほど出てました、トウキ、・・・・さん、・・さんところ借りて去年しておった。あれ、出来がどうやったのかなと。

事務局長（茶原敏輝）

ごめんなさい。民農が個人的に体調不良で休んでしまっていて、そこを民農がおればすぐお答えできるんですけども、ちょっとそこは確認できておりません。申し訳ない。

また改めて御連絡させていただきます。

菌体資材の活用については、かなりいいデータが出ているというのは聞いております。やはり、連作についても、ある程度その菌体資材を使うことによって克服がされて、向こうが見えてきたというか、こういうやり方ができるんじゃないかみたいなところは、ほぼ確立しかけているとは聞いていますので。

事務局（松本 齊）

連作障害はやっぱり解消されているんです。来年度、令和5年度に、新たに地域おこし協力隊を、トウキ専門の地域職員に協力

隊に入ってもらおうというので、めどが立ったんだと思うんです。
なので、順調に進んでいる事業というふうに私は認識しております。

事務局長（茶原敏輝）

トウキについては町のほうも、特に町長のほうが、やはり本人薬剤師であるということもありますけれども、地域のやっぱり代表的な産物ということで、もう1軒になってしまいましたので、これをここで終わらせてしまうというのはもったいないということで、何かできることがあればやりたいということですので、できる限りトウキを作っていただくところを絶やさないように、技術継承も含めてしっかりとやれるように、今のところは地域おこし協力隊を導入しながら、作付を増やしていくっていう、そういう流れかと思っております。

議長

ほかにはないですか。なかったら、これで終わりたいと思えますけども。

今日はこれで終わりたいと思えます。どうもありがとうございました。

*****午前10時30分 閉会*****

この会議録は、高野町農業委員会事務局で作成したものであるが、その内容の正当なことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

会 長 _____

署名委員 6 番 _____

署名委員 8 番 _____